

会 議 録		令和 4 年 3 月 1 日 作成	令和 7 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府城陽警察署協議会（令和 3 年度第 4 回）		
開催日	令和 4 年 2 月 21 日（月曜日）		
時 間	午後 2 時から午後 3 時 25 分までの間（85 分）		
場 所	京都府城陽警察署 講堂		
出席者	中島会長、佐川副会長、大久保副会長、森（康）委員、生駒委員 石原委員、亀川委員、森（京）委員 計 8 人 （欠席 岸本委員、武田委員）		
	署長、副署長、警務課長、生安課長、交通課長、地域課長、広聴相談係長 計 7 人		
諮 問 事 項	令和 4 年城陽警察署推進重点について		
会 議 内 容	1 会長挨拶	司会	副署長
	2 署長挨拶		
	3 協議	司会	会長
	諮問事項説明 (1) 令和 4 年城陽警察署推進重点について～署長 (2) その他 【委員】 私は、城陽市子ども会後援会協議会の役をしている。平成 17 年には城陽市内の小学校 2 年生の男女の児童が城陽警察署の一日署長をさせていただいた。子どもの記憶に残る行事であった。 【委員】 先日、メルカリになりすました詐欺メールが届いた。非常に精巧で見抜くことが困難だったが、前回の警察署協議会で教えてもらったおかげで、だまされずに済んだ。予備知識の大切さを痛感した。詐欺メールにひっかかると、しばらくの間、不安な思いで過ごす人も多いかと思う。警察の啓発活動において詐欺メールを啓発してもらえたら、助かる人がたくさんいると思う。 警察署協議会に参加し、城陽市は犯罪の発生が少なく、平穏な地域であるという印象を持ったが、警察として課題はあるか。また、その		

会 議
内 容

課題を解決するために取り組んでいることや、市民や警察署協議会委員の協力が必要だと思ふことはあるか。

【警察】課題としては、高齢者の人口比率が高いため、高齢者の方が犯罪に遭ったり、犯罪を犯すことがある。認知症の高齢者の方が、万引きをしたり、道に迷って保護されるなどの取扱いが多い。

高齢者虐待や認知症、看護、介護問題など警察だけでは対応できないことがあり、関係行政機関と情報を共有することが必要である。

また、城陽市は都市開発が進んでおり、開発に伴うトラブルや工事中の事故、交通量の増加による交通事故や渋滞も増えている。道路管理者である城陽市や国などと協力していかなければいけない。

城陽市の特徴として市民の方が協力的である。引き続き、道に迷っている高齢者を見掛けたり、また、不審者を発見すれば、警察まで連絡をお願いする。

【委員】巡回連絡など、今はプライバシーの問題などで苦勞があるのではないか。

【警察】巡回連絡で事前に緊急時の連絡先を聞いておけば、災害や人命に関わる事が起きた時、迅速に対応することができる。巡回連絡は概ね年1回の割合で各家庭を訪問している。

城陽署は、警察官1人あたりの巡回連絡実施世帯数が府下でトップクラスである。

コロナ禍で実施しているので、市民の方から「なんで回ってくるの。」などと言われることもあるが、インターホンを通して対応するなど色々工夫して行っている。

当署の地域課員は、巡回連絡の数値にとらわれることなく、有事の際に迅速に連絡が取れる意識で実施している。

【委員】警察署協議会委員になって約5年が経った。委員をしていて警察官の方は異動が多いと感じたが、負担等はあるのか。

【警察】京都府警は全体で約7千人おり、2～3年の周期で異動がある。

【委員】久津川交番の建て替えの話聞いた。

どこかに、仮の交番ができるのか。

【警察】現時点仮の交番の予算はない。現在の交番を解体して、新たに建物を建てる予定である。新しい交番には、駐車スペース、コミュニティルーム、女性警察官の休憩室、身体障害者の方が利用できるバリアフリートイレなどを設置する方向で計画中である。

【委員】大阪府の高校において大麻に関する事件報道があったが、この事件を踏まえて、警察署はどのような対応策を考えているのか。

【警察】若年層に対する啓発活動を進めていく。

会 議
内 容

【委員】交番で警察官が不在の際、警察署から交番の様子をモニターで可視化し、モニターと音声で相互にやりとりができるシステムを導入して不在交番に対する住民の機会損失を防いで住民サービスの充実を図ってはどうか。

【警察】その件は、警察部内からも意見が出ている。警視庁など数県で実施しているが、京都では予算等の課題から未だ実施の目処は立っていない。要望については関係部署に報告を行う。

【委員】高齢者の方がバイクに荷物をたくさん載せ、道路のほぼ真ん中を走っていることがある。私が注意をしても「あんたに注意される筋合いはない。」などと聞いてもらえない。パトカーが赤色灯を点灯してパトロールをしてもらうことが、交通ルールを守るきっかけとなると思う。

【警察】赤色灯を点けて見せる警戒を実施していく。

【委員】市民からの相談や要望事項などの申出で一番困ることは何か。

【警察】相談後に、事実確認のための必要な調査や捜査に協力してもらえない場合、以後の対応に困ることがある。

また、事件や事故の場合で、警察への連絡がかなり遅れた場合には、対応に苦勞することもある。

【委員】私は民生委員をしているが、警察を騙る詐欺の電話も多い中、本物の警察官かどうか分からないし、怖いという意見が出ているため、電話での確認ではなく、訪問やパトロールに変えてほしい。

高齢者への安否確認をやめることはできないか。

【警察】交番相談員による「いたわりテレホン活動」のことだと思うが、「いたわりテレホン活動」については、架電後、「本当に警察からの電話なのか。」との問い合わせがある一方、被害の未然防止につながり、感謝の声が寄せられるなど、特殊詐欺抑止に一定の効果を発揮している。電話の趣旨等を更に広く住民の方に周知、説明し、御理解が得られるようにしていきたいと考えている。

被害に遭うと、高齢者の方が長年にわたり蓄えてきた大切なお金をだまし取られてしまうことから、会合の時などに「いたわりテレホン活動」のことを説明してほしい。

【委員】女性警察官に、勤務している中での悩み事などを直接聞く機会はあるか。

【警察】時間があれば、交番に勤務する女性警察官と話し合いの場を設定したかったが、コロナ禍であり、急遽、勤務変更を行う可能性がある現状では難しい。

機会があれば、久津川交番の建て替えが計画されており、開所前に

会議内容	<p>同交番の見学後、女性警察官との面談の場を設けていきたいと思っている。</p> <p>【委員】警察署協議会の会議をどう活用したらいいかと思っている。私は介護の仕事をしており、高齢者の中には元警察官の方もおられるため、警察署協議会の話をするとう喜ばれる。</p> <p>【警察】平成13年に警察署協議会が発足した。会議後、委員の方から「警察はそんなこともしているのですね。」などと言われることが多々ある。</p> <p>警察署協議会は、委員の皆様を介して広く住民の意見や要望を聞く場所であるので、知り合いの方や地域住民の皆様に対して、警察署協議会の活動を発信してもらえればと思う。</p> <p>【委員】警察署協議会の設立の目的から、警察署協議会として何をすべきかを考える必要があるのではないか。</p> <p>警察には、協議会以外に、防犯・交通などの会議がある。協議会が同じことをやっているのではないのか。</p> <p>本来の主旨を展開できるような質問をしていく必要があるのではないか。</p> <p>委員は、交通と防犯に加えて幅広い観点で警察署協議会を活用していく。警察署協議会として協力できることがあればその中でやっていきたい。</p> <p>4 事務連絡</p> <p>令和4年度第1回城陽警察署協議会は、令和4年6月頃開催予定である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
------	---

第4回京都府城陽警察署協議会の開催状況



